

橋(川を渡るには③)

生越編

赤城根村から昭和36年(1961年)に昭和村に編入された生越は、片品川を挟んで沼田市と隣接している。

ここにあるのが平出ダムである。1964年に建設された。ダム湖の名前はみさと湖という。このダムの堰堤の上は小型の乗用車なら通行可能である。



▲平出ダム

では平出ダムができる以前はどうであったのだろうか。

『貝野瀬のかみで生越との境の足久屋と上久屋との間に土橋があった』(糸之瀬村誌)

『生越の清水と上久屋の腰越の間に冬季のみ橋架けが行われていた。人足分は生越六分、上久屋四分で負担した』(利南の民俗)との記述がある。

その当時を知っている人に出



▲生越付近の地図
(地図中の点線は徒歩で通行可能な道)

現在、沼田市側に砕石工場がある。おそらくこの辺りの浅瀬に土橋はあったものと思われる。

足久屋は片品川の崖が切れ、流れが緩やかになった辺りの小字である。徳川初期の検地では片品川が南寄り流れていたため沼田領であった。昭和22年のカスリーン台風で災害に見舞われてから人家はなくなっており河原となっている。

会えなかったが清水在住の方から「ダムができる以前、片品川は水量も多かった。けれども冬になると川の水が少なくなり、その頃になると太い木を2本繋げた丸木橋を架けていたと聞いたことがある。」と話を聞いた。

昭和村ボランティアガイドの会

森 峯子



地域包括支援センターだより

包括支援センターのご案内

包括支援センターはどんな所?

高齢者のみなさんが住み慣れた地域で、その人らしい生活を安心して継続できるようにするために、介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から総合的に支援をする所です。

どんなことをしているの?

介護支援専門員、社会福祉士、保健師の3職種が連携をして仕事をしています。

高齢者の生活の悩み相談、ふれあいいきいきサロンの活動支援、介護保険サービス利用のお手伝い、Cafeよりそい・健康麻雀の運営支援など、高齢者の生活を支援しています。

どんな時に相談するの?

「足腰が弱くなってきた」、「もの忘れが多くなってきた」、「介護サービスについて知りたい」、「親の介護や認知症が心配」、「お年寄りを怒鳴る声がある」など

気になること、困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください。



地域包括支援センター

住所：昭和村大字糸井624番地 昭和村ふれあい館

電話番号：30-2121

営業日：月曜日～金曜日(祝日および年末年始を除く)

営業時間：午前8時15分～午後5時15分まで



問合せ 地域包括支援センター ☎ 30-2121

